

第4回全国ねぎサミットが開催

全国のねぎ産地が、自慢のねぎをPR



▲白神ねぎを販売する、JAねぎ部会の由利副部長

茨城県坂東市で、様々な料理に使われる『ねぎ』の魅力をアピールし、消費拡大につなげようと、「全国ねぎサミット2013」が11月30日と12月1日の両日開催されました。

今年で4回目を数える同イベントには、全国から17の主要ねぎ産地が参加し、2日間で延べ約5万人が訪れました。期間中は、各産地のねぎ自慢合戦「N・1グランプリ」や、生産者がねぎ栽培を話し合う「ねぎトーク」などのイベントが行われました。能代市からは、特産品の「白神ねぎ」や「鶴形そば」が販売され、多くの来場者から注目を集めるなど、白神を大いにPRできました。



J A藤里支店で、防犯訓練を実施

非常時における、冷静な対応を再確認



▲緊張感のある訓練で、対処力を磨く

強盗など非常時での対処法について学ぶため、JAは12月4日に能代警察署と協力して、防犯訓練を実施しました。

この取り組みは、金銭の出し入れが多くなる年末に向け、毎年この時期に実施しています。訓練では、犯人役の警察官が女性職員を脅し、現金を奪って逃走するかたちで行われました。職員は犯人の車へカラーボールを投げつけ、車のナンバーや犯人の特徴を記憶し、即座に110番通報するなどの、非常時における対応を実践しました。訓練のあとは講習会が行われ、冷静な対応と洞察力の大切さを再確認しました。



出荷を目前に控え、規格等を確認

促成アスパラガスの、目揃会を開催



▲今年のアスパラガスの出来を見る生産者たち

収穫・出荷を前に、出荷規格や今後の管理等を確認するため、JAアスパラ部会は12月17日に目揃会を開催しました。

生産者やJA、市場関係者など約20名が参加し、はじめに山谷清英部会長が「天候不順の影響もあつたが生育は平年並みなので、今後の収穫に期待して適正管理を心掛けてほしい」と挨拶。そのあと生育概況と市場情勢が報告され、市場関係者は「天候不順や生産者の減少等で、国内産・輸入物ともに量が少ない状況。今年度も単価は高い水準で推移しそうですね、早めの出荷をお願いしたい。」と呼びかけていました。

